

空調ダクトの設計講座

受講料: 28,600円(10%税込)

2日間 14時間 9:00~17:00

学科11.0時間 実技3.0時間

【対象職種】
技術・工事

【受講対象】
空調システム基礎を
修了された方



開催日は研修部
ホームページを
ご覧ください。



【到達目標】

空調・換気設備の設計及び施工管理・サービスに携わる方を対象に、ダクトに関する基礎知識を設計から作図までより実践的に修得。

担当講師からのメッセージ

高品質な空調を創造できる空調ダクトの設計法を修得できます。
ダクトサイズやダンパ類の選定や計算通りに空気を流すノウハウを修得してください。

講習スケジュール (■は演習)

1日目	2日目
空調方式とダクトの関連 <ul style="list-style-type: none"> 換気設備でのダクトの用途 パッケージ方式でのダクトの用途 セントラル方式でのダクトの用途 	ダクト設計 <ul style="list-style-type: none"> 負荷計算による風量計算 ダクト設備の設計手順 <ul style="list-style-type: none"> 空調熱負荷計算と送風量の算出 換気量の計算 吹出・吸込口の個数と配置 ダクトルートの決定 ダクトサイズの決定 圧力損失の計算 送付機の機種選定
ダクト設計の基礎 <ul style="list-style-type: none"> 換気設備の風量計算と機種選定 負荷計算結果に基づいた空調ダクトの風量算出 機種選定に必要なダクトの圧力損失計算 付帯設備の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> 吹出・吸込口の種類と選定容量 ダンパ類の種類と用途 チャンバーボックス、キャンバス継ぎ手の目的 静圧-風量特性曲線の見方と機種選定手順 換気に関する関連法規 	ダクト設計演習 <p>用途 : 事務所、店舗の空調と換気ダクト</p> <p>機種 : 全熱交換器、ビルトインタイプダクトタイプ、エアハン</p> <p>演習内容: 風量計算 吹出口の拡散半径と到達距離 ダクトルートの検討 ダクトサイズの検討</p>
	修了テスト

研修内容

- ダクトの必要な空調方式
- ダクトの寸法決定
- ダクトの静圧について
- ファンの性能チェック
- ダクトの作図実習

